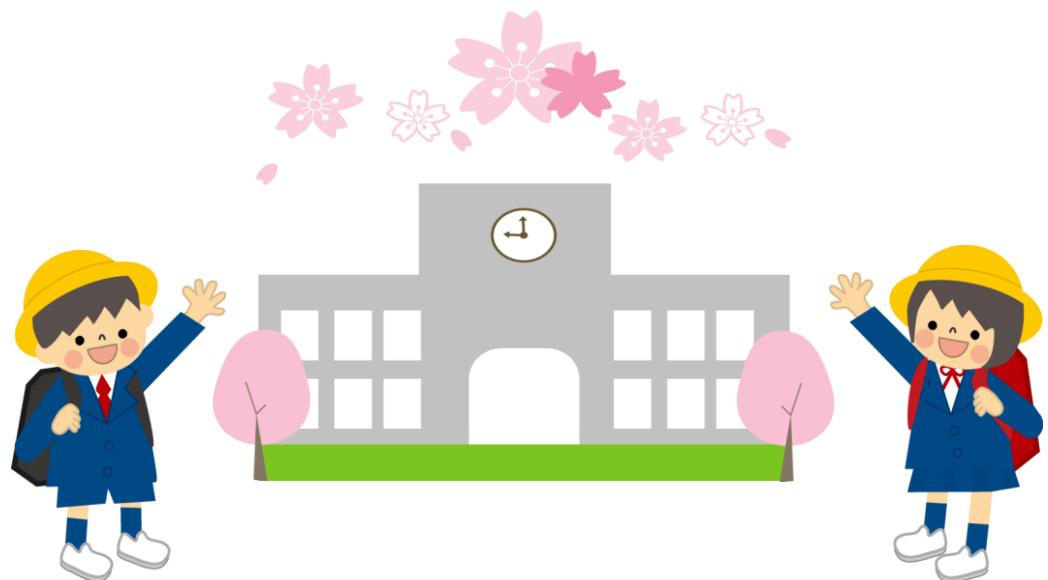




柏市版

# M.スタートカリキュラム





## (1) 人間関係づくり

詳細 : P20

新1年生の中には、小学校に入学した期待よりも不安や緊張の方が大きいという子どもがたくさんいます。そこで、幼稚園や保育園、こども園で経験しているような遊びを取り入れ、まずは担任とそれから友達と仲良くなれることを目指します。

子どもにとって、新しい環境の中で自分が知っている活動を行うことは安心感があり、担任も子どもたちの平常の表情を見ることができます。

(引継ぎの際に、幼稚園や保育園、こども園での遊びや歌を聞いておくとよいですね。)

## (2) 時間割の工夫

詳細 : P21 以降

通常45分単位で行われる授業を必要に応じて、弾力的に区切るモジュール制を取り入れましょう。15分単位とし、15分・30分・45分…等、内容に応じて授業を組み立てます。これにより、短い時間に慣れ親しんだ手遊びや歌を入れて意欲を持たせたり、少しずつ身につけさせる学習習慣や生活習慣を繰り返し指導したりすることができます。また、活動によっては60分間にする等、柔軟に計画を立てることが可能です。さらに、4月の始めを全て慣らし期間と考えず、教科書に準拠した計画のモジュール授業を行うことで、授業時数にもカウントできます。

(前年度末の1学年の余剰時数を把握しておくとよいですね。)

## (3) 「勉強したい！」子どもの思い

詳細 : P38 以降

「今日はどんな楽しいことをやろうかな」とカリキュラムの構成を工夫することは、大変重要なことです。ただ、小学校に入ったら、「勉強したい」、「字を覚えたい」、「計算ができるようになりたい」と、学校での『勉強』を楽しみにしている子どもも大勢います。

そこで、国語や算数等の教科の学習についても、無理なく楽しく学べるよう徐々に入れていくましょう。「学校の勉強は難しいことではない、楽しいものだ。」と子どもが感じられるような授業を組み立てることです。また、子どもの学習のきっかけが生まれるような学習環境の工夫をしましょう。



## ☆人間関係づくり☆

小学校によっては、20園から30園の幼稚園・保育園・こども園から子どもが入学してきます。クラスの中で同じ園からきたのは自分一人、という場合も多々見られます。このように、1年生の子どもたちにとって、新しいクラスは、新しい人間関係でスタートするとしても緊張感のある集団でもあります。慣れ親しんできた幼稚園・保育園・こども園のクラスでは自己を発揮していた子どもも、新しいクラスではすぐにそうした力は発揮できません。そこで、幼稚園や保育園、こども園で経験しているような遊びを取り入れ、まずは担任とそれから友達と仲良くなれることを目指します。スタートカリキュラムでは、一人ひとりが新しい人間関係を築くために、心をほぐし、安心感がもてるようになることが大切です。

### ◎楽しくできるショートエクササイズ（例）

#### ①だれでもできるじゃんけんをつかって（4月前半）

- |              |          |            |
|--------------|----------|------------|
| ・じゃんけんチャンピオン | ・じゃんけん握手 | ・じゃんけん肩たたき |
| ・あと出しじゃんけん   | ・じゃんけん質問 | ・じゃんけん自己紹介 |
| ・進化じゃんけん     | ・じゃんけん列車 |            |

#### ②集中して聞くというルールを（4月前半）

- |         |               |          |
|---------|---------------|----------|
| ・命令ゲーム  | ・サケ、サメ（タコ、タイ） | ・（指）キャッチ |
| ・落ちた落ちた | ・聖徳太子ゲーム      |          |

#### ③友達との関わり体験を（4月後半）

- |             |           |             |
|-------------|-----------|-------------|
| ・手つなぎおに     | ・こおりおに    | ・バナナおに      |
| ・猛獣狩りに行こうよ  | ・木の中のリス   | ・震源地をさがせ    |
| ・わたしはだれでしょう | ・なべなべそこぬけ | ・せっせっせ（手遊び） |

☆緊張感の出し方は子どもによって違います。黙っている子どももいれば、逆に非常に口数が増える子どももいます。落ち着かずに立ち歩いたり、集団から離れて遠くから眺めたりしている子どももいます。入学当初は、一人ひとりの緊張感を理解しながら子どもを捉え、受け入れていくことが重要です。そして、その上で、新しい人間関係をつくり、安心感を確かなものにしていきます。

☆気持ちを切り替える時にも、楽しみながら手を動かしたり、みんなと同じ動きをしたりすると効果的です。



## スタートカリキュラム編成のポイント(2)

# 時間割の工夫



## ☆生活科を中心とした合科的・関連的な学習形態☆

入学して間もない1年生にとって、教科はいくつにも分かれているものの、子どもの意識の中では分かれていません。そこで、身の回りの興味や関心事から学習を出発する生活科を軸に、合科的・関連的な学習を組み立てます。そのためには、他教科や道徳などとどのように関連し、そこで何をねらっているかを把握しておくことが大切です。

### ①生活科と合科的・関連的に扱える各教科の活動例

#### ☆ 国語 ☆

- ・絵を見て気づいたことや想像したことを話し合う。
- ・相手が聞き取れるように話す。
- ・姿勢、口形に気をつけて正しく発音する。
- ・鉛筆の持ち方や字形、筆順に注意して書く。
- ・正しい姿勢等に気をつけて自己紹介カードに記入する。
- ・ひらがなの言葉を正しく書いたり読んだりする。
- ・いつ、どんなあいさつをするか話し合い練習する。
- ・体験から話したいことを見つける。
- ・体験して見つけたことや面白かったことを友達と伝え合う。
- ・自己紹介をして、みんなに自分のことを知ってもらう。

#### ☆ 算数 ☆

- ・10までの数について、読んだり書いたりする。
- ・数の大きさを比べる。
- ・1つの数の構成に着目し、2つの数の和として捉える。

#### ☆ 音楽 ☆

- ・絵の中から知っている歌を見つけたり気づいたことを発表したりする。
- ・音楽に合わせて体を動かしたり、友達と歌ったりすることを楽しむ。
- ・歌いながら握手をする。

#### ☆ 図工 ☆

- ・自分が好きなものを思いつくままに描く。
- ・体全体を使って粘土の触り心地を味わう。
- ・粘土を丸めたりのばしたりつまんだりして、いろいろな形を見つけることを楽しむ。
- ・作品を見せ合い、形や色の面白さやよさを伝え合う。

#### ☆ 体育 ☆

- ・固定施設を使って楽しく遊ぶ。
- ・簡単な規則の鬼遊びを楽しむ。
- ・リズムに合わせて楽しく体を動かす。

#### ☆ 道徳 ☆

- ・多くの人とかかわり、充実した日々を送ろうとする意欲づけを図る。

『小学校学習指導要領』では、全教科において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(P2~3参照)」との関連を考慮するよう明記されています。

## ②柏市版スタートカリキュラム単元 「ともだち たくさんつくろう」

時数	主な活動	45分		
		15分	15分	15分
1	<b>席の近くの友達や担任の先生とあくしゅ大作戦①</b> ・簡単な自己紹介のやり方を知り、近くの友達や担任の先生と笑顔で自己紹介したり楽しく握手や手遊びをしたりする。	国語	生活	生活
2	<b>みんなで一緒に歌ったり遊んだりしよう①</b> ・知っている手遊びを紹介して、みんなで楽しく遊ぶ。 ・音楽の教科書P8・9の絵を見て、見つけた歌をみんなで楽しく歌う。	生活	生活	音楽
3	<b>みんないっしょ</b> (道徳P12~13「みんないっしょ」) ・自分のこれから学校生活について考える。 ・道徳について知る。	道徳	道徳	道徳
4	<b>みんなで学校の中を歩いてみよう (学校探検①)</b> ・楽しい学校生活にするための約束やマナーについて伝え合う。 ・廊下歩行の約束を守って校内(関心の高い所)をみんなで歩く。	生活	生活	国語
5	<b>クラスの友達や担任の先生とあくしゅ大作戦②</b> ・友達や先生と笑顔で自己紹介したり楽しく握手したりする。 ・集団ゲームを通した友達づくりをする。	生活	生活	生活
6	<b>自分の名前をしようかいしよう</b> ・鉛筆の持ち方に気をつけて、初めて名前を書いてみる。 ・友達にカードを見せながら、自己紹介し合う。	生活	図工	国語
7	<b>みんなで一緒に歌ったり遊んだりしよう② ③</b> ・「セブンステップス」「チェッチェッコリ」(音楽P10・11) ・2人組になって歌いながら一緒に踊る。	音楽	音楽	生活
9		音楽	音楽	音楽
8	<b>自分の好きなものを絵にかいて、友達と見せ合おう</b> ・画用紙にクレヨンで自分の好きなものを自由に絵にかく。 ・絵を見せながら、「わたしの好きなものは○○です。」と友達に紹介する。	図工	図工	国語
10	<b>友達と外で遊ぼう</b> ・校庭に出て、鬼ごっこや遊具遊びなどをして友達と楽しく遊ぶ。	体育	体育	体育
11	<b>お兄さんやお姉さんとなかよしになろう① (1年生を迎える会の練習)</b> ・「1年生を迎える会」に、どんな気持ちで参加したらよいか伝え合う。 ・会で歌う歌をみんなで楽しく歌う。	生活	生活	生活
12	<b>お兄さんやお姉さんとなかよしになろう② (1年生を迎える会)</b> ・「1年生を迎える会」(児童会活動)などで、お兄さんやお姉さんと楽しく歌ったり、遊んだりする。	特活	特活	特活
13	<b>あいさつをすると</b> (道徳P14「あいさつをすると」) ・気持ちよくあいさつしたり、されたりするとどんな気持ちになるか伝え合う。 ・クラスの中で場面を決めてあいさつっこをする。	道徳	道徳	道徳
14	<b>ねんどとなかよし</b> ・粘土を丸めたり、伸ばしたり、つまんだりして好きな形をつくり、触り心地を楽しむ。	図工	図工	図工
15	<b>お兄さんやお姉さんと学校探検に行こう (学校探検②③)</b> ・お兄さんやお姉さんと一緒に学校の中や校庭を探検する。 ・見つけたことを友達に話し、楽しく聞く。	国語	生活	生活
16		生活	生活	国語
《 各教科の配当時間 》 計16時間 国語(2時間) 生活(6時間) 音楽(2時間) 図工(2時間) 体育(1時間) 道徳(2時間) 特活(1時間)				

# 学習予定

【第1週 令和7年4月7日（月）～4月11日（金）】

【第1週のねらい】 ○心をほぐす  
○学校に対して安心感をもつ

週時数 生7/3 国1/3 算0 音0 図0 体0 道0 学1/3 行0  
(入学式の日を除く)

日	7日（月）	8日（火）	9日（水）	10日（木）	11日（金）
1					入学式
2					
3					
4					
5					
下校	<b>令和7年度 週案作成のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏市版スタートカリキュラム単元「ともだちたくさんつくろう」を取り入れています。さらに、生活科単元「がっこうとなかよくなろう」に『仲良く帰ろう』『学校の?を解決しよう』を入れて、生活科を軸に構成しました。</li> <li>小1 プロブレムを予防するためにも、児童の実態に合わせてカリキュラムを調整しやすいよう、4月は4時間で終了にしました。</li> </ul>				
持ち物					11:30
					□国語の教科書 □生活科の教科書

# 學習予定

【第2週 令和7年4月14日(月)～4月18日(金)】

【第2週のねらい】 ○小学校という環境を楽しむ  
○教師や友達と仲良くなる

週時数 生19/3 国7/3 算0 音5/3 図0 体2/3 道5/3 学8/3 行8/3

# 学習予定

【第3週 令和7年4月21日(月)～4月25日(金)】

【第3週のねらい】

○安心して自分を発揮する

○新しい集団のルールを考える

週時数 生8/3 国20/3 算9/3 音6/3 図3/3 体6/3 道3/3 学0 児3/3 行2/3

日	21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)	25日(金)
1 行 行	生 <b>1みんなで歌おう③</b> 歌いながら友達とあいさつ	音 <b>9みんなで歌おう①</b> 「チェックチェックコリ」	音 <b>うたっておどってなかよくなろう</b> ・迎える会での歌 ・校歌 ※NHK for school「すたあと」の「かたたたきでなかよし」を視聴	音 <b>9みんなで歌おう②</b> 「チェックチェックコリ」	音 <b>9みんなで歌おう③</b> 「チェックチェックコリ」
	行 《聴力検査》受け方と待ち方を覚えよう	国 ・絵を見て話し合う	国 ・絵を見て話し合う(P12~13)	国 こえをおおきさどれくらい	国 こえを合わせてあいうえお ・絵を見て話し合う(P18~19)
	行	国	国	国	国
2 国 国	国 かいてみよう ・鉛筆の持ち方 ・クジャク法	体 <b>10外であそぼう</b> ・校庭に出て、鬼ごっこや遊具遊びなどをして友達と楽しく遊ぶ	児 <b>121年生を迎える会</b> ・お兄さんやお姉さんと一緒に楽しく歌ったり、遊んだりしよう	国 おはなしたくさん ききたいな② ・図書室の約束 (本やイスの戻し方、本の持ち方など)を知ろう ◎読み聞かせ	国 はじめの がくしゅう(書写) ・文字を書く姿勢 ・たのしく書こう ・ひらがなおかいに
	国 ※迎える会の手作り招待状をもらって、きれいな文字を書きたいと思うをもたせる。	体	児	国	国
	国	体	児	国	国
3 生 図 国	生 <b>6自分の名前</b> ・鉛筆の持ち方に気をつけて名前を書いてみよう ・カードを見せて自己紹介する	国 かいてみよう ・鉛筆の持ち方 ・線をかく ・ひらがなおけいこ	生 <b>学校の?を見つけよう</b> 1年生を迎える会の感想を伝え合つてみよう ・学校にはどんなお兄さんお姉さんや先生がいたかな	算 たりるかな ・絵にブロックを置いて、1対1の対応による数の多少を比べる(P3~5) 【発展】図工の色画用紙の多少比べ	体 <b>ゆうぐあそび</b> ・体操服に着替える ・遊具で遊ぶ時の約束を知ろう ・校庭での約束ってなんだろう ・遊具で楽しく遊ぼう
	図	国	生	算	体
	国	国	生	算	体
4 道 道 道	道 <b>13あいさつをすると</b> ・気持ちよくあいさつしたり、されたりするとどんな気持ちになるか話し合う	生 <b>11迎える会の練習</b> ・会にどんな気持ちで参加したらよいか話し合おう ・会で歌う歌をみんなで楽しく歌おう	算 くらべたことがあるかな ・教科書P1を見て、自分の経験を伝え合う ・教科書P2を見て、直感的に数の多少を考える	国 <b>8すきなものいっぱい</b> ・自分の好きなものや好きなことをかこう ・絵を見せながら友達に紹介しよう	算 <b>なかまをさがそう</b> ・5までの数図ブロックの対応 ・5までの数を読む(P6~7) ※NHK for school「すたあと」の「5もじのものをさがそう」を視聴
	道	生	算	国	算
	道	生	算	国	算
5					
下校	13:30	13:30	13:30	13:30	13:30
持ち物	□国語の教科書 □生活科の教科書 □道徳の教科書 □図工の教科書	□国語の教科書 □生活科の教科書 □音楽の教科書 □体操服	□生活科の教科書 □音楽の教科書 □算数の教科書	□国語の教科書 □音楽の教科書 □算数の教科書	□国語の教科書 □音楽の教科書 □算数の教科書

4月は4校時終了とし、スタカリチーム会議を行うとよい。  
毎日の授業後の振り返りで児童の実態に合わせたカリキュラムに改善する。  
⇒カリキュラムマネジメントメンバー・・・担任、校長、低学年支援員など

## ポイント

1年担任だけでなく、他の教員に入ってもらって第三者視点のアドバイスをもらいましょう。

# 学習予定

【第4週 令和7年4月28日(月)～5月2日(金)】

【第4週のねらい】 ○みんなと楽しみながら関わり、好奇心をもつ

週時数 生 10/3 国 17/3 算 9/3 音 3/3 図 3/3 体 3/3 道 0 学 3/3

日	28日(月)	29日(火)	30日(水)	5月1日(木)	2日(金)
1	国 14 ねんどとなかよし ・ねんどを丸めたり、伸ばしたり、つまんだりして好きな形をつくり、触り心地を楽しもう		生 はじめてのあいぱっど ・使い方の基本 【発展】もじたんけんで写真を撮る	学 かかりをみつけよう 【大事】やりたいという気持ちからスタートする。ここまでに色々と手伝う機会を設けておくといい。	国 ひらかなのかくしゅう(書写) ・ひらかなおかいこ※合科にしたことで書写の時数をふやしています
	国 15 学校探検② ・お兄さんやお姉さんと一緒に学校の中や校庭を探検しよう		国 がっこうのもじたんけん(書写) ・校内をまわって文字を探そう ・探した文字を発表し合おう	国 ほんをよもう ・図書室で読みたい本を読もう ・おもしろかったところを伝え合おう ◎読み聞かせ	算 5はいくつといくつ 5の構成を理解する (P12~13)
	生 16 学校探検③ ・見つけたことを友達に話そう ・学校の施設に 관심を持ち、行ってみたい場所や会いたい人を見つけよう		国 ひらかなのかくしゅう(書写) ・ひらかなおかいこ※合科にしたことで書写の時数をふやしています	算 5までのかず ・1~5までの数について、具体物、半具体物、数図、数字、数詞を互いに対応させる(P10~11)	体 体育館にいってみよう ・体操服に着替える ・体育館はどこ? ・体育館の約束ってなんだろう ・体育館で楽しく遊ぼう
4	算 5までのかず ・1~5までの数字を書く ・1~5までの集合を色や位置などで表す(P8~9) 【発展】図工の粘土作品から5の数探し	昭和の日	生 学校の?を解決しよう ・学校の一日にはどんなことがあるのかな ※NHK for school「すたあと」の「がっこうのいちにちをうたおう」を視聴	国 ひらかなのかくしゅう(書写) ・ひらかなおかいこ※合科にしたことで書写の時数をふやしています	音 はくをかんじてあそぼう しつてるうたはあるかな? みんなで歌をみつけて歌おう
5					
下校	13:30		13:30	13:30	13:30
持ち物	<input type="checkbox"/> 国語の教科書 <input type="checkbox"/> 生活科の教科書 <input type="checkbox"/> 算数の教科書 <input type="checkbox"/> 図工の教科書		<input type="checkbox"/> 国語の教科書 <input type="checkbox"/> 生活科の教科書	<input type="checkbox"/> 国語の教科書 <input type="checkbox"/> 算数の教科書	<input type="checkbox"/> 国語の教科書 <input type="checkbox"/> 算数の教科書 <input type="checkbox"/> 音楽の教科書 <input type="checkbox"/> 体操服



## 環境構成・資料等

### 《先生と子どもの信頼関係をつくる①》

○入学式後の学級指導では「入学して来るのを楽しみに待っていたよ」、「わからないことがあったら、何でも先生に話してね」等、明日から新入生が安心して登校できるような声かけをする。

○入学式の次の日は「一人で登校できて偉かったね」と、児童だけで登校できたことを褒め、自信を持たせる。

※6年生の助けを借りながら朝の準備（ランドセルや学用品のしまい方、トイレ）の指導を行う。

※6年生へのお手伝いのお願いのポイント

- ・困っていても言い出せずにいる子に声をかける。
- ・「やってあげる」のではなく、「自分でできるように教えてあげる」

○その日の持ち物に書いてある教科書はすべて開き、何の教科書かを指導する。少しづつ学習習慣を身につける。

子どもの育ちを支えるのは  
・園との連携  
・先生の連携

○気になる子への対応策については、学年や学校全体に相談する。

○園から送られてきている要録や前年度末に行った引継ぎの資料に目を通し、園での様子や配慮事項を把握し、支援方法の参考にする。

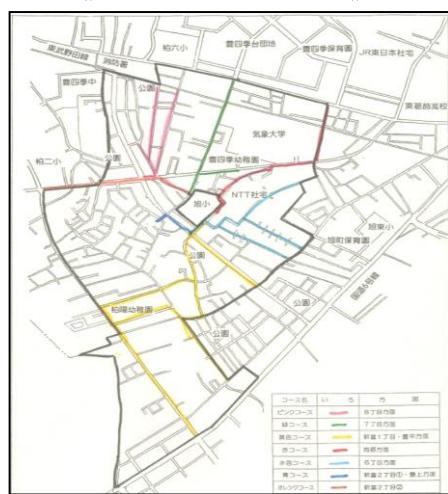
○必要に応じて、幼稚園・保育園・こども園へ連絡し、さらに詳しい情報を得て、支援に生かす。

### 《 トイレの使い方 》

- ・レバーの押し方
- ・足の位置（和式）
- ・トイレットペーパーの切り方
- ・ドア鍵の閉め方、開け方
- ・石けん、手洗いの仕方

※休み時間に行くように指導し、習慣づけられるよう、声をかける。

※トイレ指導に限らず、「園ではどうしていたのかな?」の問い合わせで、子どもの主体性を促すとよい。



### 《 通学路の確認 》

○入学式の日に拡大掲示し、自宅の場所に、名前を記入したシールを保護者に貼ってもらう。通学路等を把握しやすくなる。

○子どもルームに通う児童を把握する。（曜日も含め）

○下校コースごとの並び方を覚えさせる。

- ・名前を呼んで、返事をする。
- ・一人ずつ確認して座らせる。

○下校の際の歩き方の指導（間をあけない・横断の仕方）

○迎えに来てくれた保護者に、挨拶・お礼を忘れずに

### 《 手紙や連絡帳の提出の仕方 》

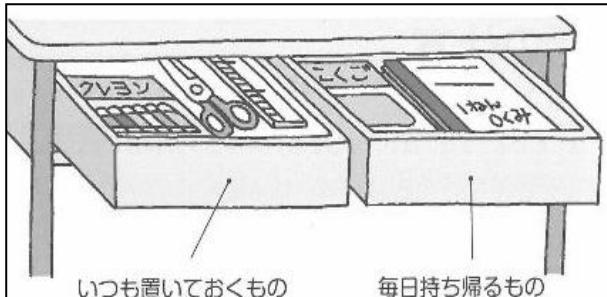


※登校したら連絡帳を開いて（伏せて）出す。  
朝のうちに、連絡帳を確認する。  
家庭から連絡があったら、返事を書く。後で電話する場合も、その旨を記入する。



## 環境構成・資料等

### 《引き出し（お道具箱）の使い方》



©小学館『クラスが元気になる 1年生担任の学級づくり』教育技術  
週末には引出しを全員出して、自分で点検するなど、定期的に整える習慣をつけるとよい。

クジャク法『正しい鉛筆の持ち方ができるくじやく法』橋爪秀博  
詳細:P40 参照

著作権の関係により  
HP公開できません  
冊子をご覧ください

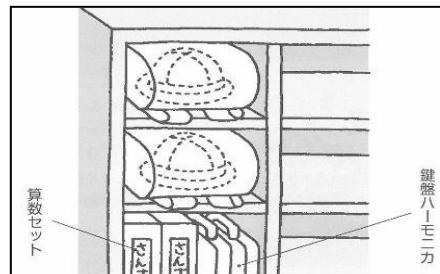
### 《くつ箱の使い方》



©小学館『クラスが元気になる 1年生担任の学級づくり』教育技術

入学後しばらくは、登下校時に使い方を確認する。

### 《ロッカーの使い方》



ランドセル・体操袋・鍵盤ハーモニカ・算数セット・粘土・粘土板などの置き方をイラストや写真で分かりやすく表示する。

### 《給食の準備》

- ①机の上を片付ける
- ②グループの机にする  
(当番が机を拭く)
- ③トイレ・手洗い
- ④ランチマットの準備
- ⑤順番を待つ
- ⑥配膳をする。  
※お盆の真ん中を持ち、  
よそ見をしない。

### 《給食》

- ※給食の開始に備えて、偏食のある児童・アレルギーのある児童を把握しておく。
- ☆給食当番☆
- ※白衣を着たままで、トイレに行かない。



- ※給食は幼保こそ小、共通の課題であり、児童にとっても大きなハードルとなっていることが多い。
- ※食育や食事の約束も少しずつ確認しながら、「楽しく食べる喜び」を感じられるように工夫する。



### 《担任と子どもの信頼関係をつくる②》

- 週初めには、元気に来られたことを褒める。
- 一日の流れが習慣化するまで繰り返し指導し、できることを確認して褒める。
- 集団遊びや読み聞かせ、休み時間の会話など、担任が意図的・計画的に一人一人とかかわる機会を積極的に設け、信頼関係をつくる。また、下校時に一人一人と握手をしたり、歌を歌ったりして、毎日楽しく登校する意欲を持たせる。



### 《 教科書の開き方 》



1ページずつ開いて、折り目をつける。

『アイロンをかけるんだよ。』  
と声をかけるとよい。

### 《 雑巾のしづり方 》



- ①雑巾を縦長になるように折る。
- ②下から握るように持つ。
- ③両手を内側にひねる。
- ④水が出なくなるまでしづる。  
(ひじを伸ばし、脇をしめる)

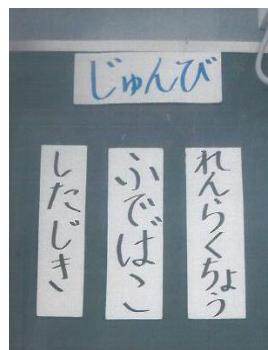
### 《 かさのとじ方 》



雨の日こそチャンス！！  
6年生や他の先生方と協力して指導する。

### 《 一目でわかる掲示物 》

掲示物によって、やるべきことが一目でわかるようになる。全体で確認するときにも効果的で、見通しを持って過ごせる。また、徐々に自分で確認しながら行動することにつながる。



#### 《子ども同士の関係をつくる》

- 対人関係の不安を共感的に受け止め、隣同士の関係づくりからはじめ、学習や遊びのいろいろな場面を活用して人間関係を広げ、深めていく。
- 簡単な手遊びや友達づくりにつながるゲームなどを取り入れて、出身の園が違う児童同士が一緒に遊ぶ機会をつくる。

#### 二人で手遊び

- グーチョキパーで何作ろう ○茶つぼ
- アルプス一万尺 ○お寺の和尚さん
- おちゃらかほい ○一匹の野ネズミ
- お弁当箱のうた

#### 慣れ親しんだ歌

- 手をたたきましょう
- おばけなんてないさ
- ドレミのうた
- さんぽ ○勇気100パーセント



## ④柏市版スタートカリキュラム 単元の主な活動展開

入学して間もない1年生は、教科書を使う学習に憧れを持っています。しかし、長い時間じっと椅子に座って学習することが難しく、身体全体を使って学ぶという発達の特性があります。

この時期の子どもの学びの特性を踏まえ、集中する時間や意欲の高まりを大切にして、複数の教科を組み合わせ、10分から15分程度の短い時間で時間割を構成したり、活動性のある学習活動を行ったりするように工夫していきます。



単元名

ともだち たくさんつくろう (全16時間)

主な活動展開 (1/16)

「席の近くの友達や担任の先生とあくしゅ大作戦①」		《教科》国語・生活
本時の目標	○場面に合わせた挨拶ができる。(国語) ○近くの友達や担任と仲良くなるように関わろうとする。(生活)	
学習内容・活動	★評価・留意点	
1. 簡単な手遊び歌を覚える。 「グーチョキパーで何作ろう」、「お弁当箱のうた」他	<ul style="list-style-type: none"><li>一人でできる手遊びや二人ができる手遊びを幼稚園の先生方にリサーチしておくとよい。</li><li>自分の名前をしっかりと口をあけて言えるように指導する。</li><li>きちんと返事をしている児童をほめる。</li></ul>	
2. 返事の仕方（名前を呼ばれたら返事をし、立つ）を覚える。		
3. 自己紹介の仕方を知らせる。		
4. となりの席の友達と自己紹介しながら握手や手遊びをする。		
5. グループの友達と自己紹介しながら握手や手遊びをする。	<ul style="list-style-type: none"><li>近くの友達と仲良くなるように関わろうとしている。</li><li>相手にわかるようにはっきりと話している。</li></ul>	

## 主な活動展開（2/16）

「みんなで一緒に歌ったり遊んだりしよう①」		《教科》生活・音楽
本時の目標		○友達と一緒に歌ったり踊ったりすることを楽しんで取り組もうとする。(音楽) ○手遊びや歌を通して新しい友達と遊ぼうとする。(生活)
学習内容・活動		★評価・留意点
※1日のスタートとして朝に15分ずつ(3日間)行っても効果的		• 慣れてきたら、グループを変えて行う。 ★手遊びや歌を通して新しい友達と遊ぼうとしている。
一日目 二 1. 前時の手遊び歌を思い出す。 2. グループの友達と自己紹介しながら手遊びをする。 「おおきなくりのきのしたで」「おしゃらかほい」他		
二 三 四 三 5. 前時までの手遊び歌を思い出す。 4. 音楽P8~9の絵を見ながら、知っている歌を歌う。 「ぞうさん」「いぬのおまわりさん」「こぶたぬきつねこ」「ちゅうりっぷ」等 4曲程度		• 前時まで振り返ることで、安心して1時間(1日)が始められるようにする。
三 四 五 6. 4の残りの歌を歌う。		• 音楽の教科書に載っている歌以外にも児童が知っている歌があったら歌う。 ★友達と一緒に歌うこと楽しんで取り組んでいる。

## 主な活動展開（3/16）

「みんないっしょ」		《教科》道徳
本時の目標		○自分の好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てる。
学習内容・活動		★評価・留意点
1. 入学前の生活を振り返り、遊んでいるときの様子について話し合う。		
2. 学校はどんなところかを知る。 • 学校で何が楽しみかを話す。 →友達と遊ぶ、勉強 など		• 初めて教科書を使う場合は、教科書の開き方・持ち方・置き方も指導する。
3. みんなで遊ぶときに大切なことを考え、発表する。		• 写真や絵を見て話させる。 ★友達と公正・公平に接することの大切さに気付いている。(発言など)
4. 道徳について知る。		

## 主な活動展開 (4/16)

「みんなで学校の中を歩いてみよう」（学校探検①）		《教科》国語・生活
本時の目標		○学校を探査し、興味のあるものやそこにいる人々とふれ合うことを通して、学校の様子や学校生活を支えるいろいろな人々の存在に気付く。（生活） ○場面に応じて声の大きさを意識することができる。（国語）
学習内容・活動		★評価・留意点
1. 幼稚園や保育園にはどんな場所があったか思い出す。 ホール・園庭・遊具・トイレ・水飲み場…等		
2. 学校の中にはどんな場所があるか見に行く計画を立てる。		
3. 廊下歩行の約束やマナーを考え、友達と伝え合う。		• 国語 P12～13 「こえのおおきさ どれくらい」にも触れ、考えさせる。
4. みんなで並んで校内を歩いて見て回る。 保健室・図書室・体育館・職員室 等（関心の高い所）		• 廊下歩行の仕方を指導する。
5. 教室に戻り、どんな場所があったか、そこは何に使うのかを話し合う。		★学校の施設や職員について関心をもち、考えたことを伝え合おうとしている。 ★場面や相手に応じて声の大きさを工夫することができる。

## 主な活動展開 (5/16)

「クラスの友達や担任の先生とあくしゅ大作戦②」		《教科》生活
本時の目標		○学級の友達と交流する楽しさに気付く。
学習内容・活動		★評価・留意点
1. 手遊び歌をする。		• 手遊び歌は、前時までと同じ歌、または子どもの様子を見て新しい歌を取り入れる。
2. 話の聞き方、集まり方を知る。		
3. 教科書 P18～19から見つけたものを話す。		• 大きな声で、はっきり話すことやあいさつの言葉を指導する。
4. 自己紹介の仕方を思い出し、違うグループなどいろいろな友達と自己紹介をしながら、ゲームをして楽しむ。 「からだじゅんけん」「じゅんけんれっしゃ」 ペアやグループを変える時には、握手をしてから移動する。		• ゲームのルールは繰り返し教え、守るように指導する。
5. いろんな友達と仲よくゲームができたか、振り返る。		★学級の友達と交流する楽しさに気付いている。

## 主な活動展開 (6/16)

「自分の名前をしょうかいしよう」		《教科》生活・国語・図工
本時の目標	○相手に伝わるような声の大きさや速さで自己紹介をすることができる。(国語) ○自己紹介を通して、友達とかかわろうとする。(生活)	
<b>学習内容・活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. もっとたくさんの友達の名前を覚えるために、名前を書いて見せ合って自己紹介すること、それを掲示することを知られる。</li> <li>2. 鉛筆の持ち方を確認する。 (事前に国語P14~15「かいてみよう」で学習している。)</li> <li>3. 自分の名前の書き順を確かめ、書く。</li> <li>4. 自分の名前を書いたカードを近くの友達と見せ合い、自己紹介をする。</li> </ul>		<b>★評価・留意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように書くのか、教師の名前を書いて見本を見せる。 (生活P16~17の間のワークシートを参照)</li> <li>・年度末に書いた字と比べられるようにワークシートを保存しておく。</li> <li>・児童一人ひとりの名前の書き順を示したプリントを配る。</li> <li>・楽しい雰囲気で書けるようにする。座席の並び方をグループに座るなどして友達と関わりをもてるようになる。</li> </ul> <p>★相手に伝わるような声の大きさや速さで自己紹介をしている。</p> <p>★自己紹介を通して、自分も学級の一員であることに気付いている。</p>

## 主な活動展開 (7・9/16)

「みんなで一緒に歌ったり遊んだりしよう② ③」		《教科》音楽・生活
本時の目標	○リズムや拍から曲の楽しさを見だし、楽しく歌ったり踊ったりする。(音楽) ○歌ったり踊ったりして友達と楽しく遊ぼうとする。(生活)	
<b>学習内容・活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1日のスタートとして朝に15分ずつ(3日間)行っても効果的</li> <li>1. P8~9で歌った歌を思い出して歌う。</li> <li>2. 「セブンステップス」を聞く。</li> <li>3. 「セブンステップス」を踊る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. P8~9で歌った歌を思い出して歌う。</li> <li>2. 「セブンステップス」を踊る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. P8~9で歌った歌や園で歌った歌を思い出して歌う。</li> <li>2. 「セブンステップス」を踊る。 ペアを代えて踊る。</li> <li>3. いろんな友達と楽しく踊れたか、振り返る。</li> </ul> <p>※「チェック＆コリ」も同様</p>		<b>★評価・留意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに歌った歌で、安心して活動できるようにする。</li> <li>・教科書を実物投影機で黒板に映す等して楽しい雰囲気をつくる。</li> <li>・上手に踊ることよりも、拍を感じて楽しく踊れるように声をかける。</li> <li>・慣れてきたら、いろんな友達とペアになるようにする。</li> <li>・ペア交代時は、握手やハイタッチをしてから分かれれる。</li> </ul> <p>★リズムや拍を感じ取り、楽しく歌ったり踊ったりしている。</p>

## 主な活動展開（8/16）

「自分の好きなものを絵にかいて、友達と見せ合おう」		《教科》図工・国語
本時の目標	○好きなものの、かきたいものを想像しながら楽しくかこうとする。(図工) ○相手にわかるようにはっきりと話すことができる。(国語)	
学習内容・活動		★評価・留意点
※算数「たりるかな」と関連づけて行っても効果的! 用意した色画用紙で、子どもに好きな色を選ばせながら、算数の「たりるかな」の学習を発展的に行うとよい。		
1. 自分のかきたいものを思い浮かべる。	※クレヨン・色鉛筆や画用紙の使い方も指導する。	• 友達と話しながらかけるように、座席の並び方を工夫する。 •かけない場合は、想像力が膨らむような声かけをする。 ★好きなものの、かきたいものを想像しながら楽しくかこうとしている。
2. グループの友達と話しながら、好きなものをかく。		
3. 絵を見せながら、「わたしの好きなものは〇〇です。」をつけて、自己紹介をする。		★相手にわかるようにはっきりと話している。

## 主な活動展開（10/16）

「友達と外で遊ぼう」		《教科》体育
本時の目標	○遊具遊びの学習の進め方や約束を知り、楽しく運動遊びをしようとする。	
学習内容・活動		★評価・留意点
1. 集合、整列、挨拶をする。  2. みんなで遊びを考え、決めた遊びを行う。 「へびじゃんけん」「十字おに」「ばななおに」「転がしドッジボール」「ねことねずみ」  3. 遊具遊びの約束を知り、いろいろな遊具で友達と仲良く遊ぶ。 • 安全な遊び方 • 遊ぶ順番や待ち方（場所など）		
4. 本時のまとめをする。	• 学習カードの使い方を知り、自己評価をする。 • 全体で本時の学習を振り返る。	•安全に、素早く集まれるようにする。 •子どもにどんなことをして遊びたいか尋ねる。幼稚園・保育園・こども園での経験をきいてもよい。 •いろいろな固定施設で、友達と仲良く遊ぶよう助言する。 •安全な遊び方については、それぞれの固定施設で具体的に指導する。  ★きまりを守り、楽しく運動遊びをしようとしている。
		<b>【学習カードの項目例】</b> • なかよく遊べたか。 • 力いっぱい遊べたか。 • 約束を守れたか。

## 主な活動展開（11/16）

「お兄さんやお姉さんとなかよしになろう①」 (1年生を迎える会の練習)		《教科》生活	
本時の目標	学習内容・活動		★評価・留意点
	1. 2～6年生が1年生と仲良くなるために考えてくれる会であることを知る。 2. 教室から体育館まで移動するときの約束を確認する。 3. お礼の歌や踊り等の練習をする。 4. 楽しみな気持ちを友達と伝え合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発表をしてくれる上級生の気持ちや拍手にこめる意味合いを考えさせる。</li> </ul> <p>★教室を移動するときの約束を考えて活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分たちもどんな気持ちで発表するのか1年生なりの言葉で考えさせる。</li> </ul> <p>★1年生を迎える会を楽しもうとしている。</p>

## 主な活動展開（12/16）

「お兄さんやお姉さんとなかよしになろう②」 (1年生を迎える会)		《教科》特別活動	
本時の目標	学習内容・活動		★評価・留意点
	1. 1年生を迎える会で上級生と交流する。 2. 上級生と交流した感想を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 楽しかった感想</li> <li>• これから学校生活で楽しみになったことやしてみたいこと</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日常的な挨拶、休み時間等のふれあい、掃除や給食等のお手伝いなど今後の上級生との関わりにも目を向けさせる。</li> </ul> <p>★上級生に迎えられ、学校生活での楽しみを見出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会の様子や感じたことを帰ってから家の人に話すよう促す。</li> </ul>

## 主な活動展開（13/16）

「あいさつをすると」		《教科》道徳
本時の目標	○時と場に応じた挨拶や言葉遣いを身につけることを通して、身近な人々と明るく接しようとする実践意欲と態度を育てる。	
学習内容・活動		★評価・留意点
1. あいさつしたときの体験を話し合う。		
2. あいさつをしている場面の絵を見て、どんなあいさつをしているのか考える。（道徳P14～15）		・場面の絵を見ながら、日常のあいさつの様子や言葉を思い起こさせる。
3. あいさつをするときに大切なことは何か話し合う。		・となりの席の子、グループ、みんなの前でいろいろな場を設定し、実践化を図る。
4. あいさつの場面を設定して、動作化してみる。		
5. 今までの自分について振り返る。 ・どんなとき、にこにこ笑顔であいさつができましたか。 ・相手は、どんな顔になっていましたか。		★身近な人々と明るく接することについて具体的にイメージしたり、自分の行動を見直したりしている。
6. 気持ちのよいあいさつについて、教師の体験談を聞く。		

## 主な活動展開（14/16）

「ねんどとなかよし」		《教科》図工
本時の目標	○粘土の触り心地を楽しみながら好きな形を作ろうとする。	
学習内容・活動		★評価・留意点
1. 幼稚園や保育園、こども園、家庭で粘土遊びをした経験を思い出し、友達と伝え合う。		
2. 粘土をいろいろな形にする。 ちぎる、つまむ、ねじる、伸ばす、くっつける、丸める 一つにまとめる 等		・友達と話しながら作れるように座席の並び方を工夫する。 ・一つ一つの動作の時間を十分にとる。
3. 好きな形を作る。		
4. 友達と見せ合って楽しむ。		★粘土の触り心地を楽しみながら好きな形を作ろうとしている。
5. 片付けの仕方を知る。		
※算数「5までのかず」と関連づけて行っても効果的！ おわりに子どもの作品から1～5までの数を探し、算数の学習を発展的に行うとよい。		・子どもの作品はしばらく飾れるようスペースを確保しておく。

主な活動展開（15・16/16）

「お兄さんやお姉さんと学校探検に行こう」（学校探検②③）		《教科》生活・国語
本時の目標		○学校探検を通して、様々な施設に関心をもち、そこに従事する人たちに親しみをもつ。 ○新たに行ってみたい場所を選ぶことができる。
学習内容・活動	★評価・留意点	
1. ペアになる2年生と挨拶をする。 (事前に生活P21「すごいな じょうきゅうせい」に触れておくとよい。)		
2. 探検の目的や約束事を確かめる。  目的：学校にあるもの・人をたくさん発見し、友達と紹介しあうこと  約束：あいさつ、マナー、声の大きさ、安全、教室に戻る時間	• 探検の注意事項の確認。約束を分かりやすくまとめ、表示するなどして意識化を図る。  【探検中の教師】 • 気になる子どもと共に行動 • 校内を巡回 • 危険が予想されるような場所対応  ★様々な施設の特徴やそこに従事する人たちの存在に気付いている。	
3. 学校探検に出かける。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 上級生の学習の様子 (教室、特別教室、体育館など)</li><li>• 先生や主事さんなど、学校で働く人の仕事の様子を見る。 (校長室、職員室、保健室、事務室、給食室、玄関、廊下、トイレなど)</li><li>• 興味のあるものを見る。 (人体模型、楽器、本など)</li></ul>		
4. 探検を振り返り、発見したことを発表したり、カードに書いたりする。	• 探検後は、絵や簡単な文、お話など表現しやすい方法で、教室に伝える場をつくっておく。	
5. 4で書いたことを友達と紹介し合い、新たに行ってみたい場所や会いたい人を見つける。	★施設や従事する人の特徴に興味を持ち、新たに行ってみたい場所を選んでいる。	

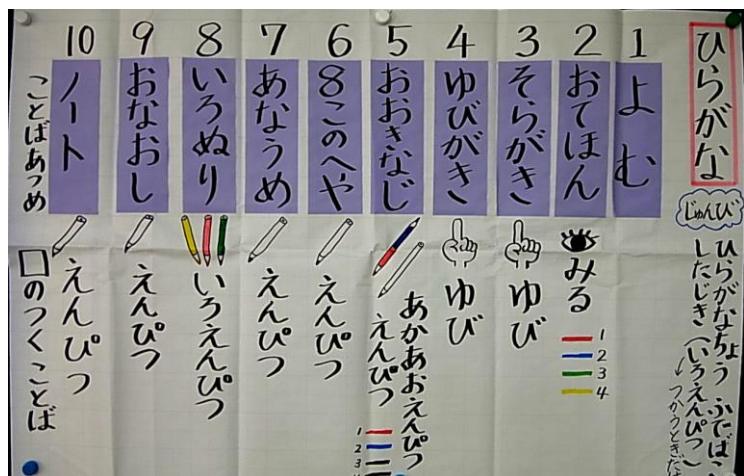


## ☆学習への興味・関心☆

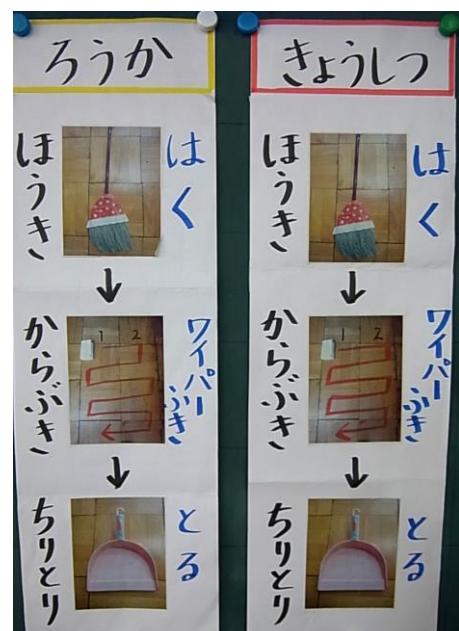
幼稚園・保育園・こども園では、「環境を通して行う教育」を基本としており、遊びの中で様々なことに興味・関心をもち、調べたり追求したりして学びの芽を育てています。この時期のこうした発達段階を踏まえ、スタートカリキュラムでは、園で大切にされてきた活動での育ちを生かしながら、教科等の学習に意欲的に取り組むように、学習環境を工夫していきます。

そうすることで、子どもたちは学ぶことを『楽しい』と感じ、その中で「わかる」「できる」という感覚を身に付けていきます。入学当初に学ぶ楽しさと共に「わかる」「できる」という感覚を身に付けること、そして主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせていくことは、学習内容の定着とともに、1年生のみならず6年間を支える主体的な学びの基盤を形成していくことにつながる、非常に重要なことです。

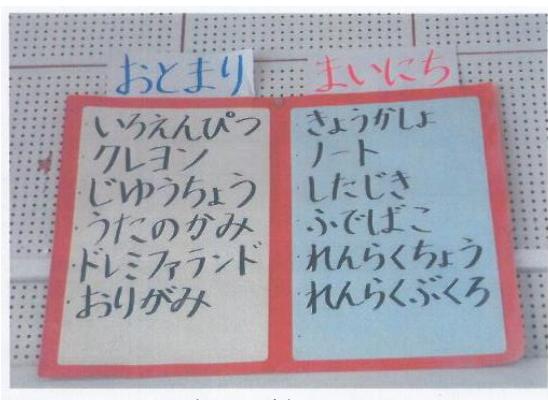
### 視覚に訴える教室表示



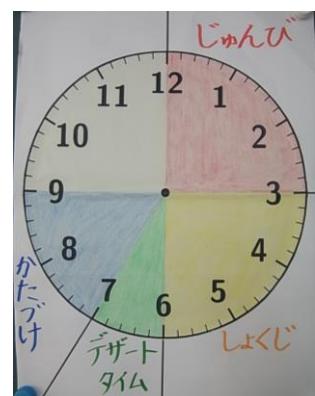
ひらがなの学習手順



そうじの手順



机の整理

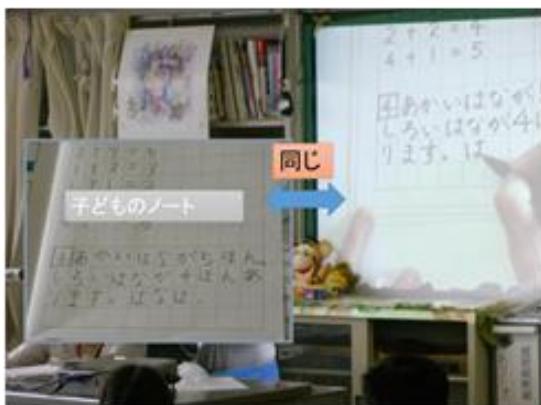


給食時計

## 指示の仕方・ことばかけ

間をとって、短く・はっきり・ゆっくり話す。

### ①具体的に示して指示する。



### ②よびかけ口調・肯定的な話し方で指示する。

- ・「～しましょう。」
- ・「～するといいですね。」

### ③指示ばかりでなく、どうすればいいか考えさせる。

- ・「幼稚園や保育園ではどうやっていた？」
- ・「どうやったらしいかな？」

### ④できる体験をたくさんさせる。

- ・「まねっこをしてもいいよ。どうせなら、もっといいアイディアを入れようか。」
  - ・（自由に見て回る時間を設定）「お友達のいいとこもらいしようか。」
- ※図工や音楽などで、「自由にやってごらん」というのは不安な子どもも多い。

## ○○小スタンダード

全校で話し合い、6年間の見通しをもって

(例)

### ①ききかた「あいうえお」

「あ」あいてをみて  
「い」いっしょうけんめい  
「う」うなずきながら  
「え」えがおで  
「お」おわりまでしっかり

### ②はなしかた「あいうえお」

「あ」あいてにきこえる大きさで  
「い」いそがずゆっくり  
「う」うつむかないで  
「え」えがおで  
「お」おわりまで

### ③聞き方名人

- ・背筋をのばして
- ・いすによりかからない
- ・足をゆかにつける
- ・机によりかからない

### ④発表のきまり・言い方のパターン

- ・指名されたら、「はい」（元気に、1回だけはっきり言う）
- ・「ぼくは（わたしは）・・・です。」「・・・と思います。」

※スムーズなコミュニケーションのためにも、必要なことははっきり伝えましょう。

### ⑤連絡袋（プリント配り）

- ・前の人から、後ろの人へ「はい、どうぞ」「ありがとう」と言って、プリントを送る。
  - ・プリントの四隅をそろえて二つ折りにし、透明の連絡袋に入れる。
  - ・（始めのうち）入れた袋を上にあげさせ、確認し、「合格」…などの手順をとる。
- ※まだ、手先を器用に動かせないため、プリントを折ることや袋に入れるのに時間がかかることがある。  
先生や友達の手を借りてもいいことを伝える。（待ってやり、自分でやることも大切）

## ○鉛筆を正しく持つ。

&lt;参考：物語でおぼえる 正しい鉛筆の持ち方ができるクジャク法橋爪秀博著&gt;

## ビー(peacock)ちゃんの歌

著作権の関係により  
HP公開できません  
冊子をご覧ください

- 物語に合わせて鉛筆の持ち方を覚えると、「くじゅくさんは？」の声かけで、自分で直すようになる。

## ○文字を丁寧に書く。

- 急がせないことが大切。
- とめ、はね、はらいや接点などを意識させる。
- 手順を決める。  
(例) ①見る ②気付く ③空書き  
④手本をなぞる ⑤鉛筆で書く

えんぴつのもちかた  
**くじゅくほう**

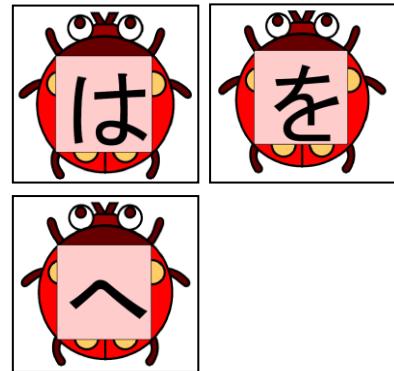
著作権の関係により  
HP公開できません  
冊子をご覧ください

## ○拗音・促音をイメージで



- 促音のつったん（小さい「つ」）、拗音のやったん、ゆったん、よったん（小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」）などの特殊音節のつまずきが多い。音と文字の対応関係のルールを理解させる。

## ○「は」・「を」・「へ」



- 助詞の役割はとても大切。使い方を間違えると意味が変わってしまうこともある。